

平成 30 年度埼玉県企業局経営懇話会における委員発言要旨

議 題

1 「第 4 次企業局経営 5 か年計画」の進捗状況(平成 29 年度)の評価について

- 工業用水道事業における計画期間中の目標「年間新規獲得の受水契約量（年間 1,000m³／日）」に対して実績が 156m³／日と、目標と実績の乖離が大きい。原因の分析や企業努力をしっかりと行った上で、必要に応じて目標を見直すことも検討すべきである。
- 工業用水道事業における契約水量の変更について、受水者ニーズを踏まえた上で、しっかりとの方針の下、将来に渡って事業の継続が図れるよう適切に対応していただきたい。
- 東京都の工業用水道事業の廃止に際して、もし契約事業所の埼玉県への移転の希望があれば、誘致を検討してもよいのではないか。
- 県のホームページに埼玉県公営企業会計の財務諸表が掲載されているが、併せて経営の健全性などが分かりやすく表記されるとよいのではないか。
- 豪雨に伴う河川氾濫による浄水場の浸水など、この計画の策定時には想定外であった災害も起きる可能性があることを踏まえ、計画はタイムリーに見直していくことも必要ではないか。
- 大久保浄水場への高度浄水処理施設の導入について、県民の要望もあると思われることから、第 5 次経営 5 か年計画の策定に向けて検討していただきたい。